

令和8年度第2回富谷市介護保険運営委員会 会議録

～ 委員会概要 ～

日 時	令和8年10月2日（金） 午後2時00分～午後3時25分
場 所	富谷市役所3階 305会議室
出席委員（14名）	那須 正行、笠原 純子、渡邊 裕志、吉村 恵理、土井 孝博、 田中 しなの、斎藤 翔、門間 とも子、鈴木 郁子、永野 憲子、 佐藤 恵子、相澤 富子、増田 恵美子、菅原 義則
欠席委員（3名）	江角 伸吾、志水 田鶴子、中谷 良子
会議に参加したる者	市長 若生 裕俊
事務局出席者（8名）	○保健福祉部 部長 高橋 加代、次長 鈴木 鏡子、長寿福祉課長 横田 善和、 同課長補佐 亀 莊一郎、同主任主査 小野寺 いず美、同主事 熊谷 董、 保健福祉総合支援センター所長 大谷 江里子、同副所長 伊東 大助、 同技術主査 後藤 雄一

江角委員、志水委員、中谷委員3名の欠席となっているが、過半数の出席により、委員会規則第4条の規定により委員会開催を確認。

午後2時00分

- < 開 会 > 司会進行 長寿福祉課長補佐
- < あいさつ > 富谷市介護保険運営委員会 委員長 那須 正行
- < あいさつ > 富谷市 副市長 武内 浩行（副市長あいさつ後、公務により退席）

（亀補佐） なお、今後の議事進行につきましては、委員会規則第4条の規定に基づき、委員長が議長となり進行することとなっておりますので、よろしくお願い致します。

（那須委員長） 議事を進行するにあたり、委員の皆様の活発なご意見を期待いたしますとともに、議事進行につきましてご協力をお願いいたします。

それでは早速ですが、議事にはいります。

4点の議題となっております。

それでは、議題（1）地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析について、説明を事務局からお願いします。

(小野寺主任主査) < 資料1 地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析
について >

(那須委員長) ありがとうございます。

ただいま、事務局から説明ございました、ご意見、ご質問等ありましたら、
お願いします。

(菅原委員) 7ページの認知症カフェの設置状況について及び8ページの認知症地域支
援推進員配置状況（配置人数）についての年、令和5年について、最新の
無いのでしょうか。

(横田課長) 一番直近のものが令和5年のデータでございましたので、今回は令和5年のデ
ータでそれぞれ資料としております。

また、別にですね、市独自で県内の状況も確認できますので、最新の状況も踏
まえて、後日、最新の状況を皆様方に報告したいと思いますので、それを確認し
ていただければと思います。

(那須委員長) その他ありますか。

続きまして、議題（2）富谷市介護保険事業の推移について、説明を事務
局からお願いします。

(小野寺主任主査) < 資料2 富谷市介護保険事業の推移について >

(那須委員長) ありがとうございます。

ただいま、事務局から説明ございました、ご意見、ご質問等ありましたら、
お願いします。

（特になし）

続きまして、議題（3）富谷市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事
業計画骨子案について、事務局からお願いします。

(横田課長) < 資料3 富谷市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画骨子案
について >

(那須委員長) ありがとうございました。

ただいま、説明ございました、皆さんからご意見お伺いします。

(土井委員) 富谷市は若年層が多く他市に比べても給付費が低い、今後は高齢者人口が他市に比べても増加し続けることが想定される。

また、現行サービスの増加による担い手不足が課題となっている市町村が多くあることも踏まえ、介護サービスを提供する担い手の確保や育成にも力を入れていく必要がある。

5 ページ下図に記載のみやぎ高齢者元気プランについて、私は委員も担っており、先日、会議に参加し、宮城県へ各市町村との連携について質問を行ってきたが、県としてあまり検討していない様子であったため、改めて各市町村との連携を行うよう依頼してきた。

富谷市の介護計画に整合・連携についての記載があることは素晴らしいと感じる。引き続き県との連携を図っていただきたい。

(横田課長) 貴重なご意見ありがとうございます。引き続き県と整合・連携を図ってまいります。

(門間委員) 先日、鷹乃杜町内会で敬老会の行事を行った。鷹乃杜町内会は約 1, 0 0 0 世帯中 8 0 0 人が高齢者で、高齢者の多い町内会ではあるが、敬老会の際にはみんな徒歩で参加するなど元気な方が多い。

地域にまちかどカフェやゆとりすと等の参加できるイベントが多いことが理由だと感じる。

まちかどカフェはおかげさまで 1 0 周年を迎えることができた。

介護予防には、顔の見える関係づくりや地域づくりなどの地域が支える部分が多く重要と感じる。地域づくりが核となっている。

(相澤委員) 先ほど、門間委員から地域づくりについてのお話があったが、私の住む地域は人口が少なく、地域の範囲も広いため、顔の見える関係づくりが困難で、ゆとりすと等のイベントへの参加もハードルが高い。

以前、ゆとりすとで大学生との交流を図ったが、私がいる間はゆとりすと活動を継続できるが、辞めてしまったらゆとりすと活動は終わってしまうと

いう評価を受けた。

地域の特色を考慮した地域づくりが必要だと感じるが、市としてはどう考えるか。

(大谷所長) 貴重なご意見ありがとうございます。

ご意見のあった通り、地域づくりは介護予防との関連性が強いと考えます。

現に、わかば圏域（相澤委員の地域）は、今回の計画のニーズ調査の中では、他圏域に比べて身体機能に関する項目が低く出ています。

地域に気軽に参加できる場所があるかどうかも含め、この結果に影響していると捉えることもできると考えております。

ゆとりすとは、担い手の課題から、支え手のみなさんがいつまで経っても支えられる側に回れないという話も聞いております。

富谷市は地域によって地域課題や健康課題も異なるため、それぞれの特性に応じた地域づくりを行っていく必要があると強く感じています。

次期計画においては、各圏域の特徴に応じた支援の強化を、包括支援センターと検討していくこととしております。

(渡邊委員) 先ほど、土井委員からも担い手に関するお話しがあったが、医療従事者も人材不足が課題となっている。現在、介護事業所の約4割が外国人と言われており、医療・介護ともに担い手不足が課題。

2040年問題など、今後も人材不足が懸念されるため人材確保に力を入れていただきたい。

(横田課長) 貴重なご意見ありがとうございます。

渡邊委員の話しにあった通り、今後人材不足が課題となっております。

また、医療と介護複合的な支援が必要な方も増加することが見込まれるため、医療・介護連携も強化を図る必要があると感じております。

(那須委員長) その他ありますか。

続きまして、議題（４）介護保険サービスの事業開始及び廃止等について、事務局からお願いします。

(熊谷主事) < 資料４ 介護保険サービスの事業開始及び廃止等について >

(那須委員長) ありがとうございました。

ただいま、説明ございました、皆さんからご意見お伺いします。

(鈴木委員) 訪問看護と介護予防訪問看護の違いは何か。

(大谷所長) 訪問看護は要介護１～５の方を対象としたサービスで、介護予防訪問看護は要支援１・２の方を対象としたサービスです。

(那須委員長) その他ありますか。

最後に全体を通して、ご意見・ご質問等はありませんでしょうか。

(鈴木委員) この場で意見することではないと思うが、地域づくりのために、市役所職員には積極的に地域のイベントや行事に参加していただきたい。

(那須委員長) その他に移ります、事務局からご説明をお願いいたします。

(亀補佐) その他といたしまして、次回、令和８年度第３回委員会については、１１月１３日金曜日を予定してございます。近くなりましたら通知いたしますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

(那須委員長) それでは事務局に進行をお返しいたします、今日はご協力ありがとうございました。

(亀補佐) 委員長、円滑な進行、ありがとうございました。また、委員の皆さま、貴重なご意見等をいただきましてありがとうございました。以上で、令和８年度第２回富谷市介護保険運営委員会を終了いたします。大変お疲れ様でございました。

< 閉会 > 午後３時２５分